



日本語政策学会

緊急研究報告会

後援: (社)日本語教育学会

日時: 2011年5月29日(日曜日) 13:00~16:30

会場: 新宿西口アイランドタワー4F 4104号 麗澤大学東京サテライトキャンパス

交通: 丸ノ内線「西新宿」駅直結。JR「新宿」駅より徒歩10分

<http://www.reitaku-u.ac.jp/introduction/2007030914094082.html>

東日本大震災で被災されたみな様にお見舞い申し上げます

## 災害・震災時、情報弱者のための言語政策について考える

13:00

総合司会: 木村哲也(帝京大学大学院)

開会あいさつ 田中慎也(日本語政策学会会長)

### 第Ⅰ部: これまでの活動・研究を踏まえて

司会: 佐々木倫子(桜美林大学大学院)

13:05~14:35

#### 1. 地方自治体の言語サービス

河原俊昭(京都光華女子大学)

#### 2. 聴覚障がい者への情報提供のあり方

中山慎一郎(日本手話研究所)

#### 3. メディアと言語情報、知的障がい者と「やさしい日本語」

野沢和弘(毎日新聞論説委員)

— 休憩 15分 —

### 第Ⅱ部: 今回の震災時、情報弱者に対する言語情報

司会: 木村哲也(同上)

14:50~16:20

#### 1. 地震被災時における外国人居住者の情報取得—浦安市の事例

村岡英裕(千葉大学)

#### 2. 震災以後、ろう者はどのようにして情報収集をしていたのか: その手段と伝播

菊地浩平(国立情報学研究所)

#### 3. インターネットによる多言語情報提供

青山亨(東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター)

16:20~16:30 総括

参加費・資料代: 会員 500円 一般 1000円 (一部を震災の義捐金とします)

資料準備の都合上、事前申込を事務局 [jalp.jimu@gmail.com](mailto:jalp.jimu@gmail.com) までお願いします。

ただし、当日参加も可能で、事前申込優先の上、先着80名まではどなたでも入れます。

プログラム全体に手話通訳がつきます。